



## 新正会員挨拶

### 審査第一部 アミューズメント

## 後藤 夕希奈

ただいまご紹介にあずかりました、後藤夕希奈と申します。

僭越ながら、平成30年度特技懇新正会員、通常採用39名、任期付採用32名を代表してご挨拶申し上げます。

はじめに、ご来賓の皆様におかれましては、ご多忙の中お越しくございましたことを、心より御礼申し上げます。

皆様から頂戴した、温かい励ましのお言葉を胸に刻み、精進して参る所存です。

また、入庁以来、懇切丁寧に指導いただいております講師の先生方、指導教官の方々、そして日頃からお世話になっております諸先輩方にも、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

4月に特許庁に入庁して3か月あまり、環境の変化に戸惑うこともまだまだございますが、国家公務員、そして特許庁の一員として社会に貢献できることへの誇りを胸に、一步ずつですが、確かに成長していることを実感しております。

まず、4月に行われた国家公務員合同初任研修では、他省庁の仲間と出会い、それぞれの職務に対する高い志を知り、大きな刺激を受けました。

そして、国家公務員としてのあり方や、国の政策についての議論を交わす中で、国家公務員として、

社会を支えていくことの責任の大きさを自覚いたしました。

続く審査官補コース研修・任期付職員初任研修では、知的財産権をめぐる特許庁の取組みを知る一方で、企業や弁理士の方々から現場の声を伺い、知的財産権が社会において果たす役割を多方面から学ばせていただきました。多大な影響力を持つ知的財産権を十分に活用し、日本の経済発展に貢献するためにも、関係者の皆様と協力し、常に時代のニーズに応える職員を目指すことを、強く決意いたしました。

また、長期にわたる研修では、同期との交流も生まれました。特に東村山合宿研修では、寝食を共にする中で、互いを知り、助け合いながら研修を乗り越えて参りました。

今後、特許庁職員としての人生を送る上で、大変心強い仲間に出会えたことと実感しております。

さて、近年、知的財産を取り巻く環境は、国内外を問わず、大きく変化し続けております。

IoT、AIを利用した技術の進展に加え、需要者の多様な価値観が市場に影響を与えるようになり、イノベーション創出の過程や価値創造の在り方そのものが変化しつつあります。

特許庁では、このような時代の変化に柔軟に対応するため、デザイン思考を取り入れたサービス改革や、価値デザイン社会を推進する取組が進められております。

また、中小・ベンチャー企業につきましては、生産性革命、イノベーションの創出の担い手として期待されており、特許庁も、その支援を強化しているところです。

私たち新規入庁者は、このような特許庁の取組を担う一員であることを十分に自覚し、意識を高く持ち、日々の業務に真摯に向き合って参ります。

そして、研修で得た知見を糧にして、実務で研鑽を積み、一日も早く一人前の審査官となれるよう精進して参ります。

まだまだ未熟な私たちではございますが、初心を忘れることなく、互いに切磋琢磨し、日本の経済と産業の発展に貢献できるよう努力して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、誠にありがとうございました。